

徹 底 解 説

日経フル活用BOOK

ダイジェスト版

日経メディアプロモーション

これだけは押さえておきたい 経済の基本

そもそも、経済とは？

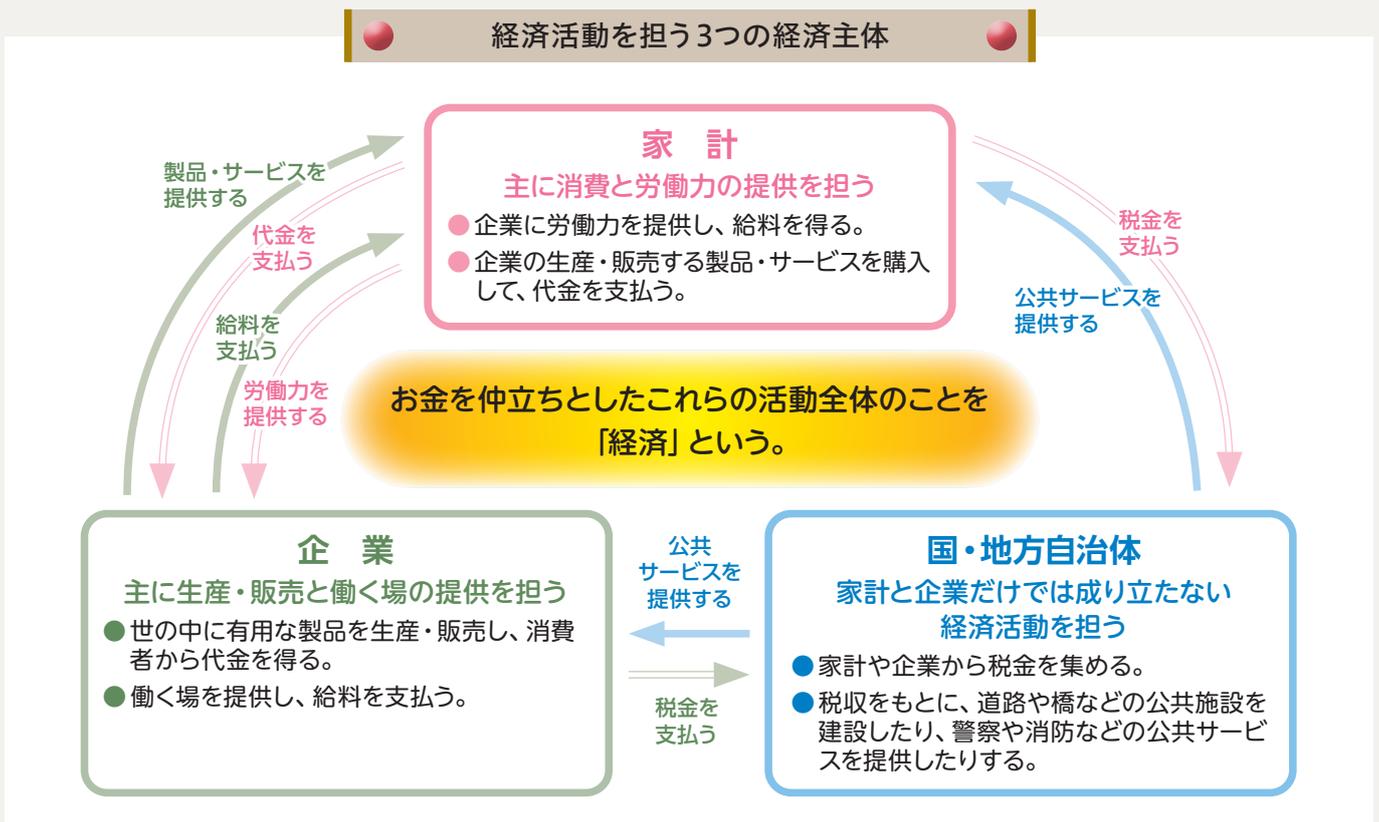
個人、企業、国・自治体、すべての活動が経済に直結。

経済という言葉を知ると、「何か難しそう」「自分には縁のないもの」と思う人も多いようです。しかし実際には、私たちの身の回りには経済活動がたくさんあります。

例えば、私たちがコンビニエンスストアでペットボトル入りの飲みものを買うことも経済活動の一つです。ペットボトル入り飲料を買うようにするには、原材料を海外から輸入する商社や、それをもとに製品をつくるメーカー、さらにそれを各店舗まで届ける流通業者などが必要です。私たちが払ったお金はこれらの企業の収益となり、そこで働く人々の給料として支払われたり、新たな製品をつくるための費用として使われたりします。

また、給料など個人の所得や企業の利益には所得税や法人税がかかり、コンビニで商品を買う際には消費税が課されます。これらをはじめとする税金は国・地方自治体に渡り、税金をもとに国・地方自治体は道路や公園を建設したり、各種の公共サービスを提供したりしています。

経済とはこのように、お金を媒介として私たちにとって必要な製品・サービスを生み出し、それを必要な人に供給する世の中の活動全体を指します。人々は働いてお金を得て製品を買ったりサービスを受けたり、余ったお金を銀行に預金したり、収入の一部を税金として国に納めたりしています。



日経の読み方の基本

Q & A

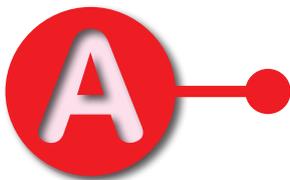
読者の皆さんからのよくある質問にお答えしながら日本経済新聞を読みこなすコツをご紹介します。

「日経は難しい」と感じていた方も、これを読めば「こんな簡単な読み方でよかったのか」と驚くかもしれません。ちょっとしたコツをつかんだだけで日経が今までよりずっと身近に感じられるようになるでしょう。

では、さっそく始めましょう！



事実関係だけでなく、
ニュースの背景も詳しく知りたい。



「総合」面をお読みください
ここは解説記事が中心です。

日経を読み始めたばかりの読者の方にとって、1面の記事はやや難しく感じられるかもしれません。1面は重要度の高いニュースを選び、事実関係やポイントを重点的に伝えます。そのニュースの背景を知らずに1面だけを読んでも、内容が今ひとつつかめないことがあります。そんな時は中面に掲載されている解説記事と併せて読むのがおすすめです。

日経には大きなニュースの背景などを理解する上でぜひ参考にさせていただきたいページ

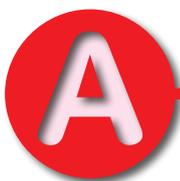
があります。それが「総合」面です。

毎日のニュースをきめ細かく追う時間がなくても「総合」面を読んでいれば、経済・産業分野の重要な出来事や新しい潮流を効率よく知ることができます。

1面記事の解説が載ることも多いので、1面を読んで難しく感じたら、ぜひ「総合」面を併せてお読みください。



載っている記事が多すぎて
読むのに時間がかかってしまいます。
どうしたらいいでしょう？



**必ずしも全ての記事を熟読する必要は
ありません。興味のある記事を中心に
拾い読みしてください。**

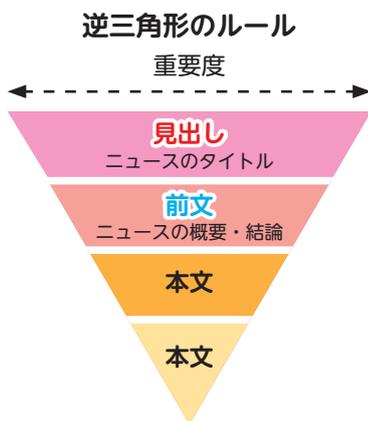
日経朝刊は40ページ前後の紙面に膨大な量の情報を掲載しています。毎日全部を熟読しようとしたら、長い時間がかかってしまうでしょう。そこで、自分の興味のある記事を中心に拾い読みするのも一つの読み方です。

その際ぜひ覚えてほしいのが、逆三角形のルールと呼ばれる新聞記事独特の文章構造です。ニュース記事の文章は「起承転結」の形にはなっていません。ニュースの概要や結論など、重要度が高いことが真っ先に書かれているのです。

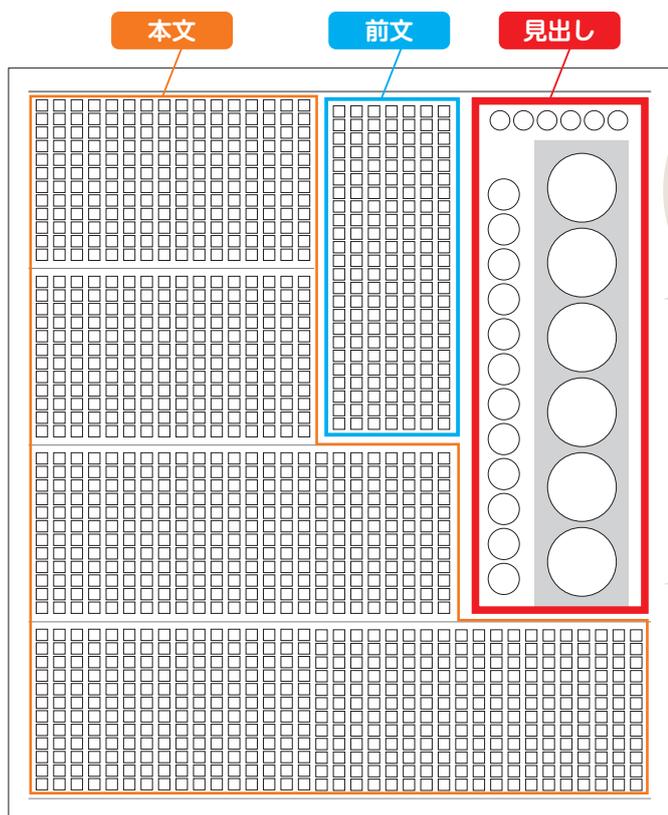
これは、記事を最後まで読む時間のない読者にも最低限の重要なポイントを伝えられるようにという配慮からです。その後により詳しい説明や補足的な情報などが書かれています。

この構造を頭に入れておき、時間がない時には記事の冒頭から読んでいって「ここまでわかれば十分だ」と思ったら、次の記事に移ってもよいでしょう。長い記事でも、見出しと前文（記事全体を簡潔に要約した最初の段落）を読めばポイントがわかります。

新聞記事の基本構造



本文後半は背景説明や分析・解説です。興味のある記事はここまで読み進んで、理解を深めましょう。



記事の要点は見出しと前文、本文の書き出し部分に集約されています。ここを読むだけでもポイントがつかめます。

前文のない記事は、本文の前の方を読めば最低限必要な情報が得られます。

では、実際に日経を開いてみよう

読み方の
コツ

最初にその日の最重要ニュースを確認

経済・ビジネスの重要な出来事をトップページで押さえましょう。

1面



[NEWS&VIEWS]

では、その日の各面に掲載している重要ニュースをピックアップして紹介しています。記事を拾い読みするのに参考になります。

[MARKETS]

前日のマーケットの動きはこの欄で確認できます。

前文

この部分が前文です。記事の概要を簡潔にまとめています。

2022年1月13日付 朝刊

まず見出し・前文にひと通り目を通す

日経の中で最も重要度の高い記事を掲載している紙面がトップページの1面です。経済・産業界の出来事ももちろん、政治や社会、国際問題まで、日本経済への影響が大きいニュースを選びすぐって報じています。

1面を読むときは、まず最初に見出しだけを読んで記事の概要を把握しておき、その後で気になった記事を読むと効率的です。慣れないうちは、見出しと前文(全体を簡潔に要約した最初の段落)だけを読むという方法もあります。

記事と自分の接点を探しながら読む

「日本の経済や社会、自分の生活や仕事にどんな影響を与える出来事なのだろう」と、自分なりの視点で記事を読むのもよい方法です。

1面に登場するのはいずれも日本経済や社会などに大きな影響を与える記事ですので、私たち一人ひとりの仕事や生活に何らかの接点があります。それを見つけるつもりで読むと、記事の重要度や広がりが見えてきます。

読み方の
コツ

企業の最新動向とその背景を読む

企業・業界関連なら「ビジネス」面に注目。

ビジネス面

2022年1月13日付 朝刊

2022年1月13日付 朝刊

企業ニュースの背景や影響を読み取る

企業情報を伝える紙面では個別企業の動向はもちろん、業界全体を左右する大きなニュースも報じます。主な記事の見方を紹介します。

● M&A (合併・買収)や事業展開

企業同士の提携や合併、事業の強化・拡大のための買収、工場や海外法人の設立などのニュースです。

狙いや背景、投入される資金の規模や収益・財務への影響、業界の勢力地図の変化などに注目しましょう。

● 新しい製品・技術・サービスの開発

メーカーの新しい製品や技術、流通・サービス業が打

ち出した新サービスなどを紹介します。それらの基本的な特徴や開発の過程、その企業の競争力・収益力への影響、同業他社の開発動向やシェアへの貢献などを記事から読み取ってください。

● 人事・組織・社内制度の改革

採用戦略、リストラ計画、人事制度の見直し、経営陣の交代、組織の再編成等の話題です。改革の概要と規模、経営陣交代の場合は顔ぶれやプロフィール、中長期的な経営戦略や事業展開への影響などに注目しましょう。

最低限知っておきたい 経済データの読み方

経済データ解説

経済の「今」を映す基本データを把握

数字を追いかけるだけで、経済の大きな流れが見えてきます。

主な経済データと発表の頻度		
毎日	日経平均株価	東京証券取引所の第1部（2022年4月4日以降はプライム市場）上場株式から主要な225銘柄を選び、株価を調整平均したもの
	NYダウ	ニューヨーク証券取引所やナスダック市場に上場している株式のうち30銘柄を選び、株価を調整平均したもの
	為替相場	通貨を他の通貨と交換する際の比率。円・ドル、円・ユーロ相場が重要
	長期金利	1年以上の資金の貸し借りなどに課される金利
	ドバイ原油価格	アジアの原油市場で指標となる中東のドバイ産原油の取引価格 など
毎月	景気動向指数	景気と密接な関係にある経済指標を集計して算出されるデータ
	有効求人倍率／完全失業率	雇用情勢を示す代表的な指標。前者は求職者1人に対し、何人分の求人があるかを表した指標。後者は労働人口に占める完全失業者（仕事をしておらず、すぐに就業できる状態にあり、職を探している人）の割合を指す
	消費者物価指数	個人の消費生活で重要度が高いモノ・サービスの小売価格の水準を示す など
年4回	経済成長率	国の経済規模を表す国内総生産（GDP）が前期に比べて何%増減したかを示す
	日銀短観 （全国企業短期経済観測調査）	日銀が企業に対する景況感などのアンケート調査を基に作成する景気指標
	産業天気図	日本経済新聞社が年4回、四半期の初めに発表する主要30業種の業況見通しなど
年1〜2回	採用計画調査	日経が主要企業の新卒採用や中途・通年採用について、企業・業種別の人数や増減などを集計
	ヒット商品番付	日経によるヒット商品のランキング。売れ行きや開発の着眼点、生活者心理への影響などを総合的に判断して年2回（6月、12月）、独自にランキングする。詳細は日経MJに掲載
	主要商品・サービス100品目シェア調査	日経が年1回、国内の代表的な商品・サービス100品目のシェアを集計する。詳細は日経産業新聞に掲載 など

徹底解説

日経フル活用BOOK

ダイジェスト版

発行 2022年3月31日

日経メディアプロモーション株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田一丁目6番10号 笠原ビル

☎ 03-3233-8220 平日10:00～17:00

2022年2月現在の東京本社最終版、朝・夕刊セット版地域の紙面内容を基本に作成しています。地域によっては夕刊の記事が朝刊に載ったり、掲載されていない場合もあります。また、紙面内容は変更になる場合がございます。本書の無断転載・複製(コピー、スキャン、デジタル化等)を禁じます。©日経メディアプロモーション2022